

# OT 推進チームによる作業療法士向けのサイト設立におけるアンケート調査

豊中平成病院 森祥子

【目的】当グループには 489 人の作業療法士（以下 OT）が在籍している。卒業教育として 2018 年 11 月に OT 推進チーム（以下チーム）が OT 向けサイトを立ち上げた。当初はアクセスの簡易化や多分野の情報の掲載に関する課題が明らかとなり、この点を踏まえ 2022 年 9 月に新サイトを設立した。新サイトではアクセスを簡易化し、OT 以外への情報提供の場としても運用を開始した。こうした経緯を踏まえ、再度アンケート調査を行ったため報告する。

【方法】グループに在籍する OT に経験年数、利用頻度、満足度、要望等についてアンケート調査（選択肢ならびに自由記述）を行った。倫理的配慮として本調査の目的と方法を書面で説明し同意を得た。

【結果】回答率は 56%（274/489 人）だった。今まで利用したことがあるが 61%、そのうち月に 1 回以上の利用が 39%だった。利用者の 71%が満足、69%が使いやすいと回答し、79%が有用性を感じていた。一方「サイトの視認性の向上」「更新時の周知方法」「認知症や小児、精神分野等の情報の掲載」の要望があった。

【考察】前回の調査と比較し、アクセスに関する意見は少なかったが、多分野の情報の掲載に関する要望は依然多かった。この理由としてチームメンバーは小児、精神、介護分野等、様々な分野で活動しているが、掲載内容は身体障害分野に偏っていた。今後は要望のあった分野の最新の知見等の情報の掲載を検討し、サイトを通して教育体制が整っていない環境にいる OT への教育や、多職種に OT の専門性を知ってもらう他、一般の方への認知の拡大等、様々な目的に対応していきたい。

## OT推進チームによる作業療法士向けの サイト設立におけるアンケート調査

森祥子 (OT)<sup>1</sup>  
柳本麻里 (OT)<sup>2</sup>、酒井美花 (OT)<sup>3</sup>  
1) 豊中平成病院, 2) 徳島平成病院, 3) 平成薬病院

背景		目的・方法	
2018.11	2021.12	2022.9	2023.6
<b>サイト設立</b> ● グループ内公開 ● 作業療法士 (OT) 向けの情報提供	<b>アンケート調査 (1回目)</b> ● アンケートは Google フォームを使用 ● 約 70% が好意的 ● 約 30% は閲覧方法の周知や簡易化、多分野における OT の活動情報を希望	<b>サイトリニューアル</b> ● 一般公開 ● ログイン方法を簡易化	<b>アンケート調査 (2回目)</b> 1) 前サイトと比較し、グループ OT の利用率や満足度等への影響の把握 2) 経験年数別の意見の分析 3) 今後のサイト運営の発展を目的に再調査を実施 ● アンケートの方法は 1 回目と同じ (選択肢、自由記述)

### HMW LAB (OT向けポータルサイト)について

**HMW LAB**  
平成薬病院内グループ  
HMW LAB 教育研究センター

作業療法士  
Occupational Therapist

- WordPressを使用
- 更新は月に2回
- 事例検討
- 推奨評価・訓練
- 訓練道具、推奨機器
- おすすめ福祉用具
- 学会発表・論文報告
- 文献
- など様々なコンテンツを掲載

Instagram, X (旧Twitter) でも HMW LAB の更新情報や OT に関する知識などを配信

### 結果

	全体 (n=166)	1-3年目 (n=28)	4-6年目 (n=46)	7-9年目 (n=29)	>10年目 (n=63)	P値
利用頻度 (月に1度以上)	65 (39)	10 (36)	12 (26)	12 (41)	31 (49)	0.1
活かされているか (非常に感じる, 感じる)	120 (72)	20 (71)	29 (63)	23 (79)	48 (76)	0.4
満足しているか (非常に満足, 満足)	118 (71)	22 (79)	29 (63)	20 (69)	47 (75)	0.4
使いやすいか (非常に感じる, 感じる)	114 (69)	19 (68)	32 (70)	14 (48)	49 (78)	0.04

- ・ 目的の情報の場所、新着情報がわかりにくい。
- ・ 小児や精神分野の情報が少ない。
- ・ 情報更新された際にお知らせしてほしい。
- ・ 職場のネット環境が整っていない。(インターネットに繋がるPCが少ない)
- ・ 意見交換できるツール (掲示板等) が欲しい。

### 今後の課題

- ・ 小児や精神分野の情報を増やす。
- ・ 経験年数が浅いスタッフへの周知方法を検討する。
- ・ 月に1度更新情報を役職者へメールしているが、今後は匿名性を守りながら全スタッフへ周知できるツールの利用を検討する。
- ・ 多職種や一般の方にも OT の専門性を知ってもらうことで、認知を拡大できるような SNS を活用する。

日本リハビリテーション医学会秋季学術大会  
COI開示  
筆頭発表者: 森祥子  
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。